

MORIOKA神保町ヴンダーカンマー

盛岡神保町ヴンダーカンマー実行委員会

顧問 梶原昌五

メンバー

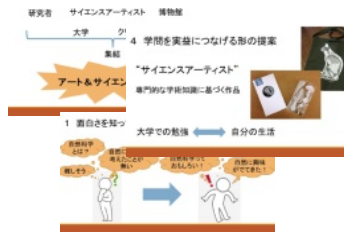
北島ちひろ(農学部)、中川裕太(農学部)、押切智博(農学部)、齋藤優気(農学部)、相澤葵(農学部)、鈴木恭平(農学部)、嵯峨昌洋(農学部)、柳沼祐亮(農学部)、森山優海(農学部)、合田裕雅(農学部)、内橋春香(農学部)、
 千田早咲(人文社会科学部)、小田嶋祐希(岩手大学自然史探偵団OB)、栗澤順一(さわや書店)、
 鈴木まほろ(岩手県立博物館学芸員)、関博充(特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ)、沼田雅充(シアワセ計画舎)、
 前川さおり(遠野文化研究センター)

テーマ

サイエンス+アート

→文教都市盛岡ならではの、学びのクリエイティブイベント

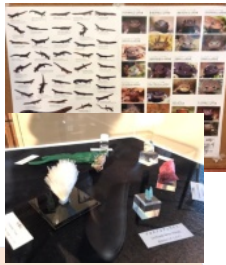
- ・自然科学の体験機会
- ・人の交流、ネットワーク形成
- ・地域活性化
- ・学問の学際的利用の提案



出展者

実行委員会のネットワークなどにより、市内外からクリエイターや研究者が盛岡市に集結。作品の展示や販売、新たなネットワークづくりなどを行った。

石と賢治のミュージアム、岩手県立博物館、岩手大学自然史探偵団、牛の博物館、小田隆、菊池咲、キウイラボ、鯨と海の科学館、是常さくら、ササキプラスチック、さゆら、さわや書店、永沢碧衣、はくラボ、ポエジア、みなみさんりく発掘ミュージアム



会場1 岩手県公会堂

ヴンダーカンマー(驚異の部屋)の雰囲気に合った空間

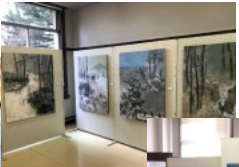
日程 2月1日(土曜日)・2日(日曜日)

実行委員メンバーと出展者

開場時間 10:00~17:00



来場者数 約450人



絵画の展示



ワークショップ

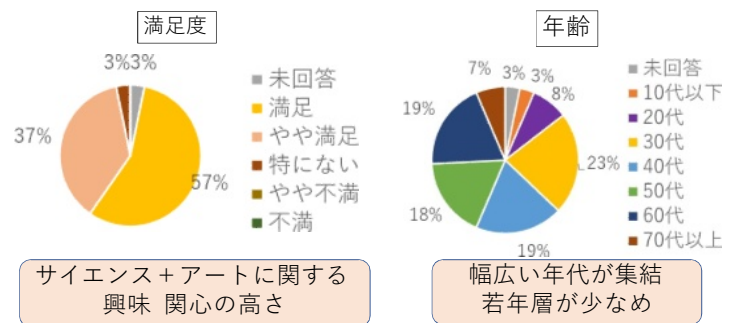
主催者コンテンツ

本家神保町ヴンダーカンマー小田隆先生の協力のもと、サイエンス+アートを体感できるイベントを実施

- ・マメンチサウルスライブドローイング
- ・恐竜復元画教室



来場者アンケート結果 回答者 62名



実施イベント ワークショップ

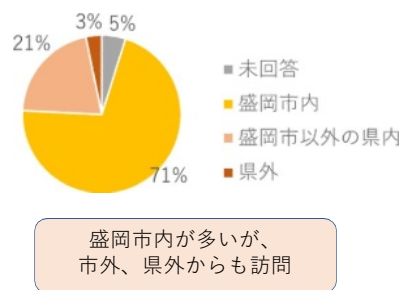
出展者と来場者の交流

- ・ホヤ釣り体験(ササキプラスチック)
- ・牛革マグネットづくり(牛の博物館)
- ・ブローチ絵付け(ポエジア)
- ・化石のレプリカづくり(岩手大学自然史探偵団)
- ・大人の科学バー
- ・鉱物写真撮影体験(石と賢治のミュージアム)
- ・漂流物のポーチ、ぬいぐるみ(是常さくら)



住まい

その他の意見



普段見られないものがあり面白かった
 展示の解説が面白かった
 いい雰囲気だった
 見ただけでわくわくした
 博物館もいいなと思った
 興味深い内容だった
 販売がもう少しあるとよかった

MORIOKA神保町ヴンダーカンマー

盛岡神保町ヴンダーカンマー実行委員会

会場2 岩手県立博物館

ヴンダーカンマーそのものを表現する空間

日程 2月15日(土曜日)・16日(日曜日)

開場時間 9:30~16:30



実行委員メンバーと出展者

来場者数 680人

ワークショップ



主催者コンテンツ

メディアプロモーション

岩手日報(2020.1.31)

より多くの人の参加による
体験機会の増加と交流促進

- ・ポスターやチラシ
- ・公式Twitter
- ・岩手日報
- ・NHK
- ・岩手タイムズ



今回の目標と今後の活動目標

- ・盛岡のサイエンス+アートイベントに関する関心の高さを確認
- ・出展者、参加者間の新たなネットワーク形成
- ・イベントの知名度上昇
- ・開催と運営のフォーマット獲得と改善点の発見

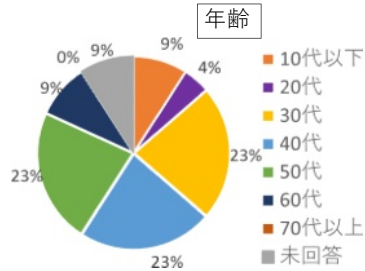
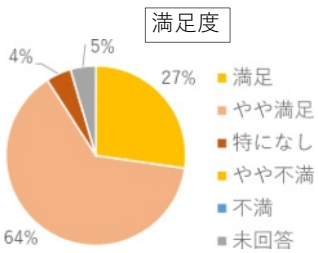


企画の発展と継続的な開催

- ・さらなる知識の供給⇄大学の参加
- ・新たなネットワークからの出展者数の増加
- ・広告宣伝の強化による参加者の増加

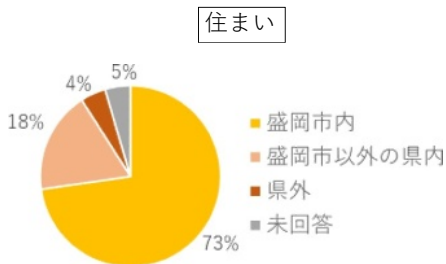


来場者アンケート結果 回答者 26名



サイエンス+アートに関する
興味 関心の高さ

幅広い年代が集結
公会堂時より、若年層が多い



その他の意見

自分も標本作製をしているので、
こういう企画は参考になる
とても面白かった
もう少しイベントスペースを広
げて、作家さんの数を増やしても
良い
参加してみたいと思っていたの
で、念願となった

盛岡市内が多い

